

「放課後子ども教室だより」

No. 7

発行：東北教育事務所 2014. 10. 16

わだ遊友クラブ・みずはらっこふれあい広場訪問

放課後子ども教室訪問

放課後子ども教室は、地域の多様な方々の参画を得て、放課後の子どもたちの心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。わだ遊友クラブとみずはらっこふれあい広場では、活動プログラムの中に地域の方々がたくさん関わって子どもたちの豊かな学びを支えています。そんな事例を紹介します。

わだ遊友クラブ

本宮市（9月24日）



広告パズルの様子

わだ遊友クラブは、白沢公民館和田分館を利用して実施しています。主に和室とホールを使って活動しています。訪問当日は、「おはなし会」を実施しました。大型絵本による読み聞かせや語りによる昔話、しらすわ夢図書館司書の柳沼さんによる読み聞かせを行いました。子どもたちは「アナンシと五」の話にじっくりと聞き入っていました。活動プログラムの前には、ちょっとした手遊びやゲームをして楽しく過ごしました。広告を切ったパズル（写真）は手軽にできる楽しいゲームなので、是非他の教室でも取り入れてはいかがでしょうか。

みずはらっこふれあい広場

福島市（9月25日）

みずはらっこふれあい広場は、水原小学校多目的ホールを利用して実施しています。小学校の施設を利用しているので、体育館や校庭を使って自由に遊ぶことができます。訪問当日は、「ブーメラン作り」を行いました。森の案内人の指導員さんが、牛乳パックを使った簡単なブーメランの作り方を教えてくれました。子どもたちは自分で作ったブーメランを楽しく飛ばして遊びました。他には、おはなし会や折り紙教室、工作教室、グランドゴルフなどを計画しています。子どもたちは地域の方々とのふれあいを楽しみにしています。



ブーメラン作りの様子